

平成29年9月21日(木)
水産試験場長 八角 直道
担当：研究調整監 茅根 (ちのね)
029-262-4158

水産試験場漁業調査船「あさなぎ」の座礁事故の対応状況について

平成29年9月11日(月)12時40分頃に発生した水産試験場漁業調査船「あさなぎ(4.9トン)」の座礁事故の対応状況についてお知らせします。

記

1. 現状

- ・9月15日(金)に船体を汀線から150m内陸部まで移動し、船体の漂流や油流出の防止措置が完了。
- ・9月16日(土)に油抜き取り作業が完了し、解体撤去作業準備中。
- ・海中の漁網等は、汀線から30m程の海中にあったが、9月21日(木)午前の引き上げ作業で回収。

2. 今後の対応

- ・解体撤去作業は、9月28日(木)実施。9月29日(金)予備日。
- ・撤去作業後、現場片付けを行い、全ての作業が完了。
- ・なお、漂流物等は適宜回収。

今回の事故につきまして、関係者の皆様方にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを、あらためてお詫び申し上げます。

<参考>

(1) 事故の概要

- ・平成29年9月11日(月)12時40分頃、水産試験場漁業調査船「あさなぎ(4.9トン)」がシラス放射能サンプル採捕中、プロペラに漁網を巻き込み操船不能となり、久慈川河口南約300mの東海村豊岡地先の砂浜に座礁した。
- ・乗組員4名は海に飛び込み、全員海岸に上陸した。1名が過呼吸による体調不良により救急車でひたちなか総合病院に搬送されたが、その後回復し、4名全員の無事を確認した。
- ・船体は水深1.2mの海上に横倒しの状態で、9月11日夕方まで油膜が薄く流出していたが、その後、油の流出はない。

(2) 「あさなぎ」の諸元

総トン数 4.9トン
全長, 全幅 17.00 m, 3.65 m
竣工年月日 平成22年7月20日
調査業務 シラス漁場調査, 二枚貝資源調査, 漁場環境調査等
事故当時の貯蔵燃油量(軽油) 約700リットル